

# H19年度春季講演会スケジュール

## 作井部門 個人講演

6月6日(水) (国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟309号)

世話人: 今里 昌幸(石資・本社), 池田 正市(帝石・本社), 市川 祐一郎(JDC), 澤村 啓(JDC), 富岡 正(帝石・柏崎), 田崎 誠司(帝石・本社), 長縄 成実(東大・工), 福嶋 直哉(出光O&G), 古谷 昭人(JDC), 星野 雅史(テルナイト), 筑井 秀昌(石資・本社) \*世話人代表

(1)	9:20 ~ 9:30	開会宣言	作井技術委員長 吉田 恒夫(石資・本社)	司会者
(2)	9:30 ~ 9:50	検層・セメンチング作業におけるPDCAサイクルの適用	田中 英樹(帝石・柏崎)	福嶋 古谷
(3)	9:50 ~ 10:10	水中アプレシブウォータージェットによるセメントのパーフォーレーション	木崎 彰久(東北大・環境科学)、後藤 久則(東北大・工)、松木 浩二(東北大・環境科学)、小勝 武(関東天然瓦斯)、田村 一浩・今 隆道(テクノアース)	
(4)	10:10 ~ 10:30	あけぼのSK-4Dで採用した新しい掘削ツールの紹介	小熊 倫子(石資・長岡)	
< 休 憩 >				
(5)	10:40 ~ 11:00	下部寺泊層・七谷層におけるPDCビットの適用	石川 正紀(帝石・柏崎)	澤村 今里
(6)	11:00 ~ 11:20	ビット荷重 - 回転数 - 坑内温度条件とビット内Oリング寿命の関係に関する研究	須藤 祐子・高橋 弘(東北大・環境科学)	
(7)	11:20 ~ 11:40	減圧貯留層における鋼管滑り解析	陣内 康生・森田 信男(早大・理工)	
(8)	11:40 ~ 12:00	DSTJ(Double Shoulder Tool Joint)の採用について	佐藤 信秀・佐倉 弘持・鈴木 敏雄(エヌケーケーシームレス)、古川 和夫(石資・本社)	
< 昼 食 >				
(9)	13:00 ~ 13:20	海洋掘削装置での緊急対応	深谷 宙生(JDC)	富岡 星野
(10)	13:20 ~ 13:40	サブシー坑井の廃坑方法の検討	樋口 清三郎・小山 輝之(JDC)	
(11)	13:40 ~ 14:00	36"コンダクターケーシングのジェットインについて	樋口 和敬・小林 照明・澤田 郁朗・猿橋 具和(JAMSTEC)、石井 美孝(石資・本社)	
(12)	14:00 ~ 14:20	地球深部探査船「ちきゅう」の実海域総合試験について	宮崎 英剛・和田 一育・難波 康宏・井上 浩・井上 朝哉・小橋 素己・脇田 典英・小松 正夫・福永 哲夫・許 正憲・磯崎 芳男(JAMSTEC)	
< 休 憩 >				
(13)	14:30 ~ 14:50	SBM循環時の泥水温度予測と泥水冷却装置の導入実績	松野 郁右(石資・本社)	池田 筑井
(14)	14:50 ~ 15:10	Oil Base Mud・Synthetic Base Mudの最新動向調査	前田 啓彰(JOGMEC)	
(15)	15:10 ~ 15:30	傾斜坑井におけるドリルストリングの動挙動とホールクリーニング	長縄 成実(東大・工)、野村 剛(JOGMEC)	
(16)	15:30 ~ 15:50	CO <sub>2</sub> 圧入坑井アニュラス内対流熱伝達を考慮した超臨界および液体CO <sub>2</sub> 温度予測	安並 哲・佐々木 久郎・菅井 裕一(九大・工)、名子 雅夫・川端 秀樹(環境総合テクノス)	
< 休 憩 >				
(17)	16:00 ~ 16:20	JHNにおける既存井の活用 - サイドトラック作業実績紹介 -	乗岡 孝男・西野 卓也・宮崎 俊也(石資・本社)	田崎 長縄
(18)	16:20 ~ 16:40	あけぼのSK-4Dにおける大深度マルチブランチの計画	上村 義則(石資・本社)	
(19)	16:40 ~ 17:00	サハリンでの圧入井掘削請負	佐々木 学・大門 勝悦(SKE・本社)	
(20)	17:00 ~ 17:20	新技術開発におけるオペレータとコントラクターの新しい協力関係について	日下 浩二(シュルンベルジェ・長岡)	

## 作井部門 シンポジウム

### 「作井における技術者の挑戦」

6月7日(木) (国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟311号)

世話人: 今里 昌幸(石資・本社), 池田 正市(帝石・本社), 市川 祐一郎(JDC), 澤村 啓(JDC), 富岡 正(帝石・柏崎), 田崎 誠司(帝石・本社), 長縄 成実(東大・工), 福嶋 直哉(出光O&G), 古谷 昭人(JDC), 星野 雅史(テルナイト), 筑井 秀昌(石資・本社) \*世話人代表

概要: 近年、作井分野には、大深度井、大水深井、水平井、大偏距井など多くの新しい技術課題とこれに付随する様々な新機器が登場し、新規技術の導入のみならず長い歴史を経て練り上げられた既存技術を改善して適用する必要性が大きくなっている。

作井技術者をはじめとする井戸に係わる人員は、これら技術課題を有するプロジェクトに対して、作業計画を立案し、保安や環境に配慮しながら現場での準備・作業を遂行し、さらに作業後の評価と問題点の抽出や解決方法の策定などを検討する。作業計画立案時には、リグや機器の改造、作業方針の改定なども行われる。またこれら以外に現場や現業所における他分野の技術者や事務方との協議・連携、資機材や人員の調整、他組織との交渉など様々な業務をこなす場合もある。これら業務で培った様々な技術力は、掘削・改修・廃坑などの坑井作業のみならず坑井トラブルを解決する際、あるいは新資源や科学掘削などの新しい分野においても大いに発揮され、かつ関係者から高い評価を得ているところである。

個々の技術者は、広く作井分野に携わった者としてこれまでの知見や経験を蓄積しており、これらに立脚した技術力を様々な技術課題や分野に応用していく。その傾注した努力が今後の作井技術のさらなる発展に還元され、また新たな道を拓くことになる。

本シンポジウムは、「技術者の挑戦」というキーワードを設定し、それぞれの技術者が、坑井作業にとどまらないこれら諸分野において、どのような挑戦を行い、どのように評価したり評価されたりしているのかについて、関係者間で情報を共有することを目的とする。

(1)	9:20 ~ 9:30	開会の辞	作井技術委員長 吉田 恒夫(石資・本社)	司会者
(2)	9:30 ~ 10:15	中東アブダビ海域における坑井作業の変遷 - 坑井管理と新技術の適用 -	田村 満夫(JODCO)	池田 長縄
(3)	10:15 ~ 11:00	海洋掘削コントラクターの挑戦 - 近年の要求事項とその対応策 -	福嶋 睦夫(JDC)	
< 休 憩 >				
(4)	11:15 ~ 12:00	国内初SBMの導入と使用実績	今里 昌幸(石資・本社)	
< 昼 食 >				
(5)	13:00 ~ 13:45	削井技術と保安技術の向上と伝承	細見 淳(帝石・柏崎)	澤村 星野
(6)	13:45 ~ 14:30	「ちきゅう」未達の深部へ -石油掘削技術者の挑戦-	小林 照明(JAMSTEC)	
< 休 憩 >				
(7)	14:45 ~ 15:30	オペレーターとサービスカンパニーの新たな協力関係におけるエンジニアの関わりかた	羽倉 淳一(シュルンベルジェ・長岡)	
(8)	15:30 ~ 16:15	アブダビ石油における水平掘りについて	井戸 尚孝・平島 智拓(アブダビ石油)	
< 準 備 >				
(9)	16:30 ~ 17:30	パネルディスカッション	司会者 中村 常太(石資・本社)	
(10)	17:30 ~ 17:40	閉会宣言	作井技術委員長 吉田 恒夫(石資・本社)	